

# 第7回

# 子どもとためす環境まつり

主催 中央区環境保全ネットワーク  
共催 中央区環境部



## みんなで一緒に 未来へ受け渡す 環境を考えます



やエコ材料を利用した工  
作コーナーは、どこも大  
賑わいでした。環境やエ  
コを、より身近に感じて  
いただけたのではないで  
しょうか。  
また、鮭が生まれた川  
に戻ってくるように、中  
央区で生まれ育った子ど  
もたちが大人になって中  
央区へ戻り、地域の活性  
化に参加してほしいとい  
う願いを込めた「サーモ  
ンプロジェクト」のスタ  
ッフをしている小学生た  
ちの、はつらつとした表  
情も印象的でした。



パネルを使ってゴミの正しい分別を学びます(ゴミ分別ステーション)。

十月九日(土)。佃島小  
学校で「第七回子どもと  
ためす環境まつり」が開  
催されました。  
雨模様の中、約千人がか  
わらず、約千人が訪れる  
盛況ぶり、大人から子  
どもまで各コーナーに熱  
心に参加いただきました。  
本催しは、中央区にか  
かわる団体や企業がそれ  
ぞれの専門分野で培った

環境保全・改善のノウハ  
ウを分かりやすく楽し  
みながら学べる体験型環  
境学習祭です。一階では十  
五のブースが、二階では十  
五のブースが実施した「木  
挽き体験」丸太を切つて  
みよう」では東京都西  
多摩郡檜原村にある「中  
央区の森」の間伐材を切り、  
森林保全の  
楽しさを大  
変さを体験  
してもらい  
ました。  
二階の体  
育館では「素  
敵なミニブ  
ー」を作り  
ませんか?  
など、十六  
の体験ブ  
ーが、川  
と「隅田川  
探訪」佃島  
小学校「佃  
島」の発表  
展示。発表  
の材料を



廃材やエコ材料を利用した工作などでにぎわった体育館会場。



銀座ミツバチプロジェクト「ミツバチと遊ぼう!」に熱中する子どもたち。



人力車もエコの象徴。多くの方が記念撮影をしていました。



木挽き体験～丸太を切ってみよう～

## 「歩きたばこ・ポイ捨て防止のキャンペーン」 ご協力のお願い

平成16年6月に「中央区歩きたばこ及びポイ捨てをなくす条例」施行以来、パトロール員による喫煙者への直接指導、看板や路面シートの設置、街頭キャンペーンなどの周知活動を行っています。街頭キャンペーンは、毎月1回、主に通勤時間帯(朝9時から30分程度)に交差点や駅周辺で町会・商店会や企業の皆様のご協力を得て、まちぐるみの運動として実施しています。なおキャンペーンへの参加企業は随時募集していますので企業の皆様にはCSRの一環として積極的なご協力をお願いします(キャンペーンは区内各地点を回るため年に1回程度の参加・協力となります)。参加した皆様を区のホームページで紹介させていただいておりますので、ぜひご覧ください。



ホームページ: <http://www.city.chuo.lg.jp/>

●連絡先 環境保全課環境係 ☎ 03(3546)5402

## リサイクル推進協力店を募集しています



◎リサイクル推進協力店とは  
環境にやさしい商品の販売、店頭での資源回収など、リサイクルやごみ減量に積極的に取り組んでいるお店です。区では、こうしたお店を「リサイクル推進協力店」と認定し、応援しています。

◎区の支援  
認定店には、認定証やステッカー、のぼり旗をお渡ししています。また、「区のおしらせ 中央」や区のホームページで、店舗名や住所などを紹介しています。

◎対象となるお店  
・リサイクル商品や環境保全型商品を積極的に販売し、または取り扱っているお店  
・店頭で資源の回収に協力しているお店  
・使い捨ての容器、商品等の販売及び使用を自粛しているお店  
・簡易包装等を推進しているお店

◎申込方法  
所定の申請書を区に提出してください。用紙は区のホームページからダウンロードできます。また、申込みは随時受け付けています。

●連絡先 清掃リサイクル課事業推進係 ☎ 03(3546)9595



清掃・リサイクル施設見学会を実施しました



見晴し広場から見た「新海面処分場」

身近な「ごみ」についての理解を深め、リサイクルへの関心を高めることを目的に、「清掃・リサイクル施設見学会」を十月二十日(水)に実施しました。今回は、ごみの最終処分場である「中央防波堤埋立処分場」、プラスチック製容器包装(♻️ プラマーク)のリサイクルを行う「新日本製鐵株式会社津製鐵所」、家電のリサイクルを行う「株式会社ハイパーサイクルシステムズ」の三カ所を見学しました。中央防波堤埋立処分場では、粗大ごみの破碎処理施設や東京湾内で最後の埋立処分場である「新海面処分場」、新日本製鐵株式会社では、プラスチックリサイクルの仕組みや処理方法、株式会社ハイパーサイクルシステムズでは、エアコンや冷蔵庫等が人の手で一つ一つ分解されている様子や破碎・分別の工程をそれぞれ見学しました。

●問合せ先  
清掃リサイクル課事業推進係  
☎03(3546)9595



株式会社ハイパーサイクルシステムズ

◆参加者の声・抜粋  
◆東京の将来と日々の生活、ごみの出し方について考えさせられた。  
◆3R(リデュース・リユース・リサイクル)について考えさせられた。特にリデュース(発生抑制)が大事。  
◆無駄な物は買わない、もらわれないを心掛けたい。  
◆家庭でのごみ削減を話し合おうと思った。

ボランティアによる「中央おもちゃの病院」を開設しています

電気、機械、ものづくりにかかわり、おもちゃに関心のある方たちが培った技術、知識、経験を活かして「中央おもちゃの病院」を開設しました。

おもちゃを通じ、地域・子どもたちとの交流を図るとともに、「物を大切にする心」「科学や創造力」をはぐくむことを目的に取り組んでいます。

是非、ご利用ください。

日時：毎月第2日曜日 午前10時～午後3時

場所：リサイクルハウスかざぐるま箱崎町3階  
(日本橋箱崎町36-15)

費用：部品交換は実費

連絡先：中央おもちゃの病院会長 加藤 立

☎03(3531)3145

メールアドレス：tdm.kt@jcom.home.ne.jp



フリーマーケットを開催しました

家庭で不用になった衣類などの再使用(リユース)を促進するため、十一月十三日(土)に佃公園でフリーマーケットを開催しました。会場には九十二店舗が並び、衣類や雑貨、おもちゃなどさまざまな品物が販売され、午

前十時から午後三時まで、終日家族連れなど多くの人でにぎわいました。会場で行われた「ごみの中からこんなもの展」では、粗大ごみの中からまだ使用できるものを修理し、抽選のうえ無料で提供しました。抽選の

ときは、結果を心待ちにする人たちが飛び交いました。また「ゲームで覚えよう!資源・ごみの正しい分け方」のコーナーでは、制限時間内に資源とごみを分別するゲームに挑戦してもらいました。近年、ごみの分別が大きく変わりましたが、チャレンジした人の多くが正しい分別が引き、皆さんの分別・リサイクルに対する意識の高さが伺えました。今後とも3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進にご協力をお願いします。

●問合せ先  
清掃リサイクル課事業推進係  
☎03(3546)9595

公調委 公害相談ダイヤル  
総務省公害等調整委員会では、暮らしの中の公害でお困りの方から、公害紛争処理制度の利用に関する相談をお受けいたします。公害紛争処理制度についてはホームページで  
http://www.soumu.go.jp/kouchoi/  
暮らしの中の公害でお困りの方  
公害紛争処理制度に関する相談電話です  
公調委 公害相談ダイヤル  
03-3581-9959  
月～金曜日 10:00～18:00 (祝日及び12月29日～1月3日は除く)  
(連絡先) 公害等調整委員会事務局総務課  
電話(代表) 03-3581-9601 (直通) 03-3503-8591

確認しましょう! ペットボトルの出し方

ペットボトルは下図の手順で出してください。  
①キャップとラベルをはずす。 ②中身を空にして、水洗いする。 ③押しつぶす。 ④「中身の見えるごみ袋」に入れる。  
キャップは必ずはずしましょう!

ペットボトルのQ&A  
Q はずしたキャップとラベルはどうすればいいですか?  
A 「♻️ プラマーク」の日にお願いします。  
Q ペットボトルはいつ出せばいいですか?  
A 「資源」の日にお願いします。  
Q 回収対象のペットボトルは何ですか?  
A 右にあるマークがついているペットボトルが対象です。  
Q 事業所から出たペットボトルはどうすればいいですか?  
A 容量に見合った有料ごみ処理券を貼って出してください。  
※区の収集を利用できるのは、排出日量50kg未満の小規模事業者です。

●問合せ先 清掃リサイクル課事業推進係 ☎03(3546)9595